

一般社団法人由布市まちづくり観光局

事務局長 生野 敬嗣

大分県由布市の概要



平成17年（2005年）挾間町、庄内町、湯布院町が合併して由布市へ

人口：約33,000人（令和8年5月末現在）

来訪者数：年間約4,200,000人（令和7年）

主な観光スポット：由布院温泉、湯平温泉、塚原高原、男池湧水群、由布川峡谷

豊かな暮らしと交流が共存する 滞在型保養温泉村

- ・人の顔が見える交流促進
- ・安心・安全な保養温泉地としての具体化
- ・100年の森構想
- ・由布市の観光拠点としての役割

石畳とともに時を刻む 懐かしき古(いにしえ)の温泉地

- ・湯平温泉の個性を活かした今後の方針検討
- ・石畳や川治の景観を活かした取組みの継続。

広大な農村景観と豊かな恵みを育む 伝統文化の里

- ・広大で多様な農村景観の魅力を発信しつつ市内隋逸の農産物の恵みを活かす
- ・自然と伝統の継承

ダイナミックな自然を五感で楽しめる 上質な高原エリア

- ・高原ならではの空気感や景観を楽しめる居場所や視点場づくり
- ・由布院発のプログラム構築等（アクセスの課題解決も意識）



塚原地域

由布院地域

湯平地域

挾間地域

庄内地域

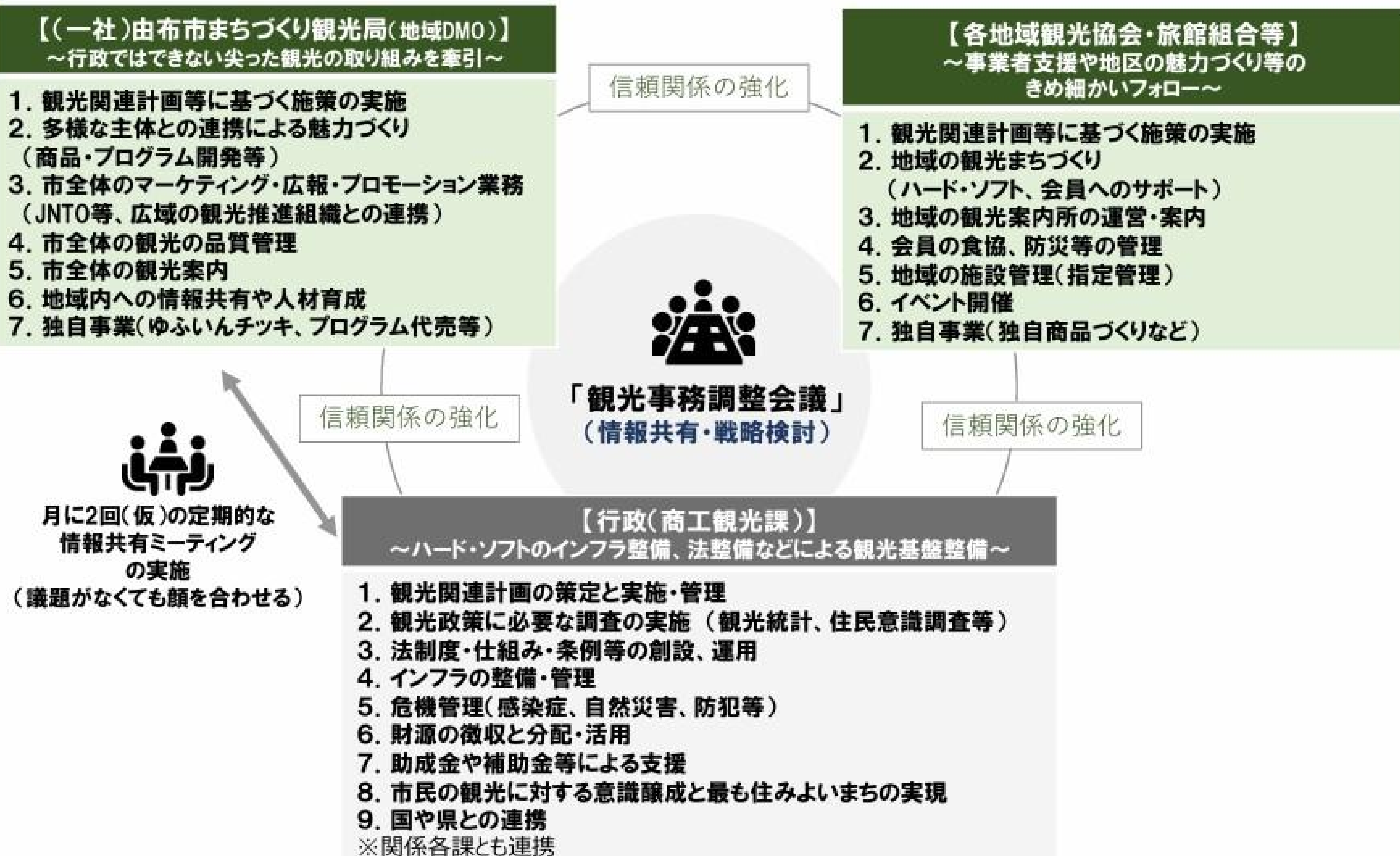
神秘的な峡谷美と賑わい広がる 都市近郊のまち

- ・域内周遊の仕組みづくりと拠点整備
- ・人材の確保と育成の強化

由布市まちづくり観光局の沿革

- 2005年10月 挾間町・庄内町・湯布院町の3町が合併し由布市へ
市内来訪者の約9割を占める湯布院町に商工観光課設置（分庁舎方式）
旧3町の観光団体で組織する由布市観光協会設立
- 2011年 3月 「由布市観光基本計画」策定
（STEP①）本庁舎方式への移行を見据え、新たな観光振興組織の検討
- 2013年 5月 「観光事務調整会議」設置
（STEP②）旧3町の観光団体の連携強化
- 2014年 4月 「観光新組織準備室」設置
（STEP③）新組織の運営体制等について官民で協議
- 2015年 4月 「観光新組織推進室」設置
（STEP④）新組織設立最終準備
- 2016年 4月 一般社団法人由布市まちづくり観光局設立、DMO候補法人登録
- 2020年 6月 （STEP⑤）旧3町の観光団体代表（7名）が観光局の理事に就任
- 2021年11月 DMO本法人登録
- 2025年 2月 （STEP⑥）観光事務調整会議の運営体制等変更

由布市の観光推進体制（主な役割分担）



由布市まちづくり観光局 組織体制

【 目的 】

住んでよし、訪れてよしの「滞在型・循環型保養温泉地」を目指すとともに、持続可能な観光まちづくりに貢献することを目的とする。

地域固有の特徴・個性を再構築し、魅力的な由布市観光の形成とともに、観光のみならず農業、商業、工業をはじめとした地場産業の活力を最大限に引き出すことにより、地域経済の持続的発展を図る。また、行政の「観光施策（住んでよし）」と民間の「観光戦略（訪れてよし）」を融合させ、九州および大分県の広域周遊観光としてのハブ的役割を有する観光推進組織として取り組む。

【 組織代表・業務執行理事 】

【 代表理事 】

民間代表

【 代表理事 】

行政代表

【 事業運営 】

職員数／ 1 3 名

【 専務理事 】

法人職員 1 名

【 観光戦略部門 】

マーケティング／プロモーション／
地域ブランド管理／旅行商品開発／ 等
法人職員 4 名（プロパー 3 名、由布市より出向 1 名）

【 観光案内部門 】

観光情報の提供／旅行商品販売代理／宿泊斡旋
レンタサイクル／手荷物預かり／手荷物集配送 等
（法人職員 8 名）

【 理事（法人社員） 】 < 1 2 名 >

代表理事（2 名）・専務理事（1 名）・理事（7 名）・監事（1 名・商工観光課長）・顧問（市長）

【 賛助会員 】

湯布院塚原高原観光協会 ・ 由布院温泉観光協会 ・ 湯平温泉観光協会 ・ 庄内町観光協会
はさま由布川峡谷観光協会 ・ 由布院温泉旅館組合 ・ 湯平温泉旅館組合